

新潟県納税貯蓄組合総連合会優秀賞

支え合い

長岡市立青葉台中学校

三年 笠井 瀬南

私の祖父は、北海道の小さな町でひとり暮らしをしています。私
が住む本州からは約八百キロメートルも離れているので、なか
か会うことができませぬ。離れて暮らす高齢の祖父には持病が
あり、最近歩行も困難になってきているので、私達家族はとて
も心配しています。

しかし、祖父は今の生活に不便を感じる事なく楽しそうに
日々過ごしています。

その理由は、祖父はひとり暮らしだけでも、さまざまな社会
保障や福祉サービス、行政の支援などに支えられているからで
はないかと私は考えます。

祖父の暮らす町は、人口約三千人。その内三人に一人は高齢
者だそうす。高齢者の人口割合が高いのは日本中の問題です
が、田舎の方がより高齢化が進んでいます。

しかし、どこで暮らしていても、高齢者が平等に受けること
ができる支援やサービスが日本にはたくさんあります。その制度を
支えている大半が税金なのです。

実際に、どのような制度に税金が使われているのか、祖父の身
の回りに焦点を置き調べてみました。

まずは年金です。祖父はもう高齢のため、仕事をしていません。

受給している年金で生活をしています。年金は二十歳以上の加
入義務者と会社が納める保険料に加え、国も税金を拠出して受
給者の暮らしを支えています。もし年金制度がなければ、退職後
安心して暮らすことができないのではないのでしょうか。

次は医療です。私達も病気やけがで病院に行くことはありま
すが、高齢者になるとさらに病院に行く機会が増えるようす。
日本の医療制度も年金と同じように、みんなで保険料を出しあ
い、国からも補助金が拠出されています。病院を受診した時の負
担額が一〜三割の支払いで済むものも、この制度があるからで
す。海外ではこの制度がない国も多く、治療代や手術代なども
すべて自己負担のため、高額な請求になるようす。

年金や保険の他にも、冬の除雪や道路の整備、地域のコミュニ
ティ作りなども祖父の暮らしにとっては重要で、これらも税金で
支えられています。

高齢者だけではなく、私たちの暮らしの中でも、ゴミ回収や救
急・消防、公共施設の管理や上下水道の整備など、例を挙げて
もきりがいいほど、税金は身の回りで使われて、なくてはならな
いものばかりです。

私達の暮らしを税金が支え、その税金はみんなで支える。たと
えひとり暮らしでも安心して毎日が過ごせるのは、日本で
はみんなで支え合う文化や、スタイルが根付いているからだと思
います。

税金について改めて考える事で、日本の国の良いところを、た
くさん見つけることができました。税金は、人々が幸せに暮らす
ために集めるお金だと思えます。